

WEB版「おしえて!楽習保育®」では、保護者のみなさまからのご質問にお答えし ながら、ご家庭で取り組める楽習保育®のアイディアをご紹介しております。 今回は、"えいごあそび"編!英語を使ってご家庭で遊ぶことはありますでしょうか?

是非、えいごを使って楽しく遊んでみてくださいね。 Let's enjoy English!! ママ・パパの悩みに

# 私自身が英語に対して苦手意識が強いため、子どもとどう英語に接していっ



たらよいのか、イメージが湧きません。(5歳/男児のママ) 英語に苦手意識を持つ方は少なくないですよね。お母さまの英語への苦手意識

Dα

はどこから来ていますか?学校の英語の勉強からでしょうか。 英語を教科としてとらえず、 伝えるための手段だと考えてみてください。

海外旅行先で英語が出来たらとても楽しいですよ。

挨拶や「ありがとう」「またね」など日常の簡単な表現を

英語で言ってみることから始めてみましょう。 楽しそうに英語を話しているお母さんの真似を お子さんもしたくなるかもしれません! Have fun! (楽しんで!)

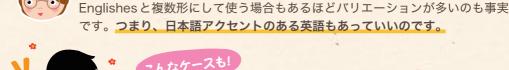
子どもと英単語など使う場面での発音について、カタカナ英語になってしま





単語によって異なりますが、「発音はネイディブに近い方がいい」というのは、 安全な答えです。ですが、英語は様々な国で使われています。

います。発音はネイティブに近い方がよいのでしょうか。(3歳/男児のパパ)



です。つまり、日本語アクセントのある英語もあっていいのです。

例えば、「ワクチン」は英語で「vaccine」で



発音は「ヴァクシィーン」。 こんなに違うんだということは、知っておくといいですね。

言葉の習得の順番として、日本語がまず話せるようになってから英語を取り 入れていく方がいいですか? まだ、日本語もままならないので、早期から英語に触れさせることで混乱し てしまうのではないかと不安です。(2歳/男児のママ)



量と関係します。 日本人の両親で通常日本語で話している家庭の子どもは、短時間英語に触れ るだけでは日本語の獲得に混乱することはまずありません。

これは、**どのくらいの量の英語にふれさせるのか、ということばのインプット** 

もしあるとしたら、親が意識して英語を話す時間を多くしていて、 日本語での会話量が極端に少ない場合でしょう。

英語の音は日本語と違いがあるからる

刺激になり面白く感じるものなのです!

でいいことでしょう。

日本語が話せるようになってからと考えず、 あそびせいかつの中で取り入れてみてください。



(1歳/女児のママ) 確かに乳幼児期は音に敏感です。いろんな音を聞かせることは刺激になるの

YouTube や英語のCD 教材など、聞かせるだけでも効果はあるものですか?

ただし「聞かせるだけで英語が話せるようになる」ということにはなりません。

動画を見るだけではなく、<mark>例えばそのフレーズを使って、大人</mark> と一緒に英語の音を真似をしてみるなど遊びに展開させると、 子どもにとってより楽しい時間になるでしょう。

話せるようになるには、やり取りできる機会が必要だからです。



# ◆「アイ・スパイ」ゲー おすすめ時期 ▶ 会話ができるようになってきた頃(目安: 幼児期以降) I Spy with my eye Something red (Blue, yellow)

Let's enjoy English!!

たとえば! **「赤色」**の何を想像しているかをあててみます。



### 遊びです。英語の音を身近に楽しんだり、これ は英語でなんて言うのかな?と興味を広げてい くことにつながります。

[Something Red?]



楽習保育®チャンネルでも、ISpyゲーム【えいごあ そび】何を想像してるかな?英語で見つけよう!を 動画で紹介しております。 是非ご参考ください!!

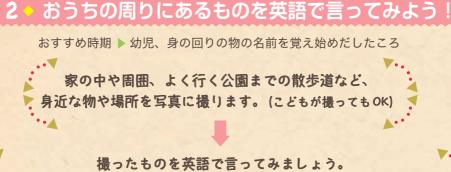
https://youtu.be/-yjQU0XjA5c

[Apple!]

[Good! (thoto~!)] or

子どもにも大人にも、色は英語で表現しやすく 親しみやすいので、気軽に準備物もなく楽しめる

[No! I spy strawberry!]



撮ったものを英語で言ってみましょう。 英語の名前やスペルがわからなければ、おうちの人がスマートフォンなどで調べたり 読み上げ機能を使えば正しい発音などの情報も得られます。

英語を楽しむ機会が増え、

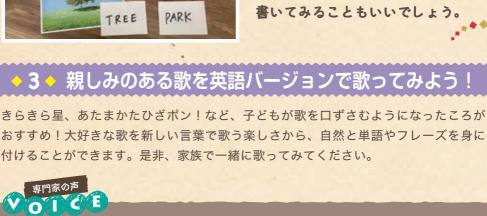
おうちの人が英語で名前を 書いてみることもいいでしょう。

興味を持ち始めたら、

子どもがアルファベットの文字にも

SKY

木は"TREE"、空は"SKY"、公園は"PARK"、信号は…?



## CHE! 生後6か月頃までの赤ちゃんは日本人が苦手とする「 $\mathbf{r}$ 」と「 $\mathbf{l}$ 」の聞

限りは続きません。 ほとんどの日本人はその後もそのような環境では過ごしていないため、 英語習得は簡単なことではありません。時間がかかるからこそ、英語 を早く始めた方がいいとも言えますが、辞めずに続けるための動機 づけが必要です。特に、**子どもたちは英語の時間がゲームに集中して** いる時のような楽しい時間となることが大事です。











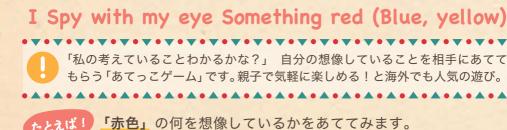












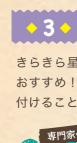








STRAWBERE



加須屋 裕子先生 えいごあそびプログラム 教育アドバイザー

文京学院大学 人間学部 児童発達学科 大学院人間学研究科

き分けができます。しかし、そのような能力は英語環境を続けない

そんな環境づくりに周りの大人ができることはないのでしょうか。 例えば、寝る前に英語の絵本を読んでみるのはどうでしょうか。 子どもが気に入った本は何度でも読んで聞かせましょう。読みながら

本の内容について、日本語で語り合うのもいいでしょう。英語をもっと 学びたくなるように、楽しく「読み聞かせ」をすることを毎日の習慣に